

FANG+ インデックス・オープン

運用報告書(全体版)

第3期

(決算日 2021年2月1日)

(作成対象期間 2020年1月31日~2021年2月1日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/インデックス型		
信託期間	約9年11カ月間(2018年3月5日~2028年1月28日)		
運用方針	投資成果をNYSE FANG+ 指数(円ベース)の動きに連動させることをめざして運用を行いません。		
主要投資対象	ベビーファンド	FANG+ インデックス・マザーファンドの受益証券	
	FANG+ インデックス・マザーファンド	イ. 米国の金融商品取引所上場および店頭登録(上場予定および店頭登録予定を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。) 口. 米国株式の指数との連動をめざすETF(上場投資信託証券)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、配当等収益等の中から分配を行なうことをめざします。ただし、配当等収益等が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国上場企業の株式に投資し、NYSE FANG+ 指数(円ベース)の動きに連動した投資成果をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			NYSE FANG+ 指数 (円ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2019年 1月30日)	9,284	0	△ 7.2	9,388	△ 6.1	97.6	1.8	0.5	5,814
2 期末 (2020年 1月30日)	13,132	20	41.7	13,391	42.6	95.0	4.9	0.3	3,274
3 期末 (2021年 2月 1日)	23,833	10	81.6	24,523	83.1	96.8	3.3	—	10,481

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) NYSE FANG+ 指数 (円ベース) は、NYSE FANG+ 指数 (円ベース) の原データをもとに、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

NYSE® FANG+™ は、ICE Data Indices, LLC またはその関連会社（以下「ICE データ」）の登録商標であり、NYSE® FANG+™ 指数および NYSE® FANG+™ 指数 (円ベース)（以下「指数」）を利用するライセンスが FANG+ インデックス マザーファンド（以下「ファンド」）において、大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。大和アセットマネジメント株式会社およびファンドは、ICE データによってスポンサー、販売、または販売促進されているものではなく、ICE データは、証券投資全般、特にファンドへの投資の妥当性について、または指数が一般的な株式市場のパフォーマンスを追従することについて、いかなる表明保証を行うものではありません。

ICE データおよびその第三者供給元は、明示または黙示の保証を行わず、インデックス、インデックスの値またはそれに含まれるすべてのデータに関して、商品性または特定の目的への適合性のすべての保証を明示的に否認します。ICE データは、たとえそのような損害の可能性について、特別、懲罰的損害、直接的、間接的、または結果的損害（利益の損失を含む）に対する責任は通知されていたとしても一切負いません。

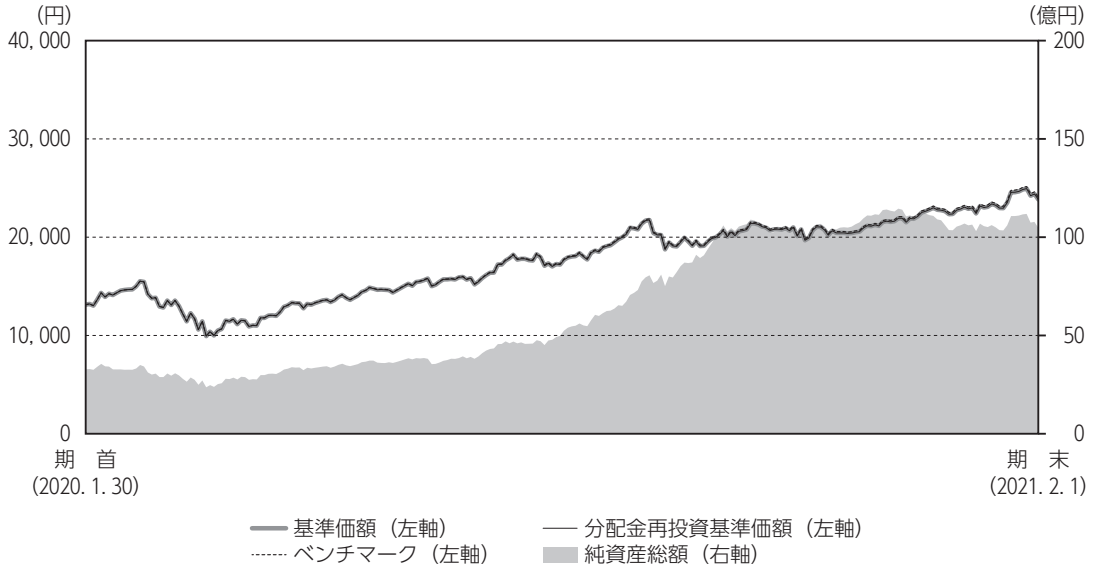
“NYSE® FANG+™” is a service/trade mark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates (“ICE Data”) and has been licensed along with the NYSE® FANG+™ Index and NYSE® FANG+™ Index (JPY) (“Indexes”) for use by DAIWA ASSET MANAGEMENT in connection with FANG+ Index Mother Fund (the “Fund”). Neither DAIWA ASSET MANAGEMENT nor the Fund, as applicable, are sponsored, endorsed, sold or promoted by ICE Data. ICE Data makes no representations or warranties regarding the advisability of investing in securities generally, in the Fund particularly or the ability of the Indexes to track general stock market performance.

ICE DATA AND ITS RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS MAKE NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE WITH RESPECT TO THE INDEXES, INDEX VALUES OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. IN NO EVENT SHALL ICE DATA HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.



運用経過

基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークはNYSE FANG+ 指数（円ベース）です。

■ 基準価額・騰落率

期 首：13,132円

期 末：23,833円（分配金10円）

騰落率：81.6%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を通じてベンチマーク（NYSE FANG+ 指数（円ベース））の動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米国株式市況が上昇したことや組み入れているハイテク銘柄の好調な業績を受けて基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

FANG+ インデックス・オープン

年 月 日	基 準 価 額		NYSE FANG+ 指数 (円ベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(ベンチマーク)	騰 落 率 %			
(期首)2020年 1月30日	13,132	—	13,391	—	95.0	4.9	0.3
1月末	13,215	0.6	13,477	0.6	94.9	4.5	0.4
2月末	12,953	△ 1.4	13,218	△ 1.3	93.0	5.9	0.5
3月末	11,543	△ 12.1	11,785	△ 12.0	92.9	6.2	0.6
4月末	13,560	3.3	13,852	3.4	92.3	7.5	0.6
5月末	14,367	9.4	14,686	9.7	94.7	3.3	0.7
6月末	15,470	17.8	15,827	18.2	96.0	3.3	0.1
7月末	17,207	31.0	17,626	31.6	96.4	5.0	0.0
8月末	20,788	58.3	21,308	59.1	94.4	9.5	0.0
9月末	19,978	52.1	20,486	53.0	96.3	4.9	0.1
10月末	20,797	58.4	21,341	59.4	97.6	2.7	0.1
11月末	21,255	61.9	21,822	63.0	95.7	4.5	0.1
12月末	22,873	74.2	23,510	75.6	96.7	3.4	—
2021年 1月末	24,404	85.8	25,100	87.4	96.6	3.2	—
(期末)2021年 2月 1日	23,843	81.6	24,523	83.1	96.8	3.3	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 1. 31 ~ 2021. 2. 1)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて大きく下落しました。2020年3月下旬以降は、各国の大胆な景気刺激策や新型コロナウイルス治療薬およびワクチンの開発への期待などを好感し、上昇しました。9月以降は、米国の景気回復に対して懐疑的な見方が広がったことなどを受け、上値の重い展開となりました。しかし11月以降は、米国大統領選挙の結果に対する不確実性が解消されたことやワクチンが承認されて接種が始まったことを好感し、上昇して当作成期末を迎えました。

■ 為替相場（米ドル／円）

為替相場は円高となりました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により景気後退懸念が高まったこと、また2020年3月上旬には金融市場の混乱を受けたリスク回避的な動きから、米ドルは下落（円高）しました。その後、各国で大規模な財政・金融政策が発表されたことで市場は一定の落ち着きをみせました。9月に入ると、感染再拡大への懸念からリスク回避姿勢が高まり、米ドルは下落基調になりました。2021年1月以降は、米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大統領府および上下両院共に民主党が制したことで大型経済対策などの政策の実現化が現実味を帯び、米国の経済回復への期待が高まったことを受け、米ドルは上昇（円安）しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「FANG+ インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■ FANG+ インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマーク（NYSE FANG+ 指数（円ベース））の動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2020. 1. 31 ~ 2021. 2. 1)

■ 当ファンド

「FANG+ インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率は、当作成期を通じておおむね100%程度に維持しました。

■ FANG+ インデックス・マザーファンド

米国株式を中心に、E T F（上場投資信託証券）および外国株式先物も一部利用し、株式組入比率（投資信託証券、株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

NYSE FANG+ 指数の採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

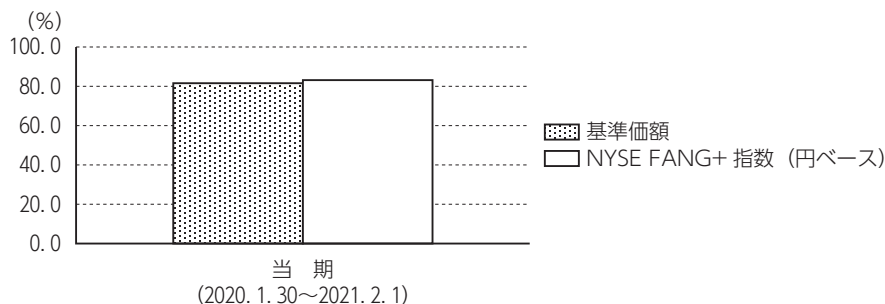
組入銘柄においては、世界的な脱ガソリン車の流れを背景に電気自動車への期待が高まり、足元業績も安定してきた TESLA INC. や、新型コロナウイルス感染拡大の影響による巣ごもり需要を背景にデータセンター向けの売上げが堅調な NVIDIA CORP. などの銘柄がプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は83.1%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は81.6%となりました。

マザーファンドの組入銘柄に配当金が計上されたのに対し、ベンチマークは配当分が含まれていないため、かい離要因となりました。また、マザーファンドで組み入れているE T F（上場投資信託証券）の原資産がベンチマークと異なっていることや、マザーファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異が、かい離要因となりました。その他、運用管理費用、マザーファンドにおける売買委託手数料や保管費用等のコスト負担がかい離要因としてあげられません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年1月31日 ～2021年2月1日	
当期分配金（税込み）	（円）	10
対基準価額比率	（％）	0.04
当期の収益	（円）	10
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	13,833

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 11.04円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	4,934.56
(c) 収益調整金	8,711.11
(d) 分配準備積立金	186.34
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	13,843.06
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	13,833.06

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「FANG+ インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

FANG+ インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 1. 31～2021. 2. 1)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	141円	0. 802%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は17, 642円です。
(投 信 会 社)	(72)	(0. 409)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(64)	(0. 365)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0. 028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0. 023	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0. 018)	
(先物・オプション)	(1)	(0. 004)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0. 000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 001)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	4	0. 025	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 005)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	150	0. 850	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

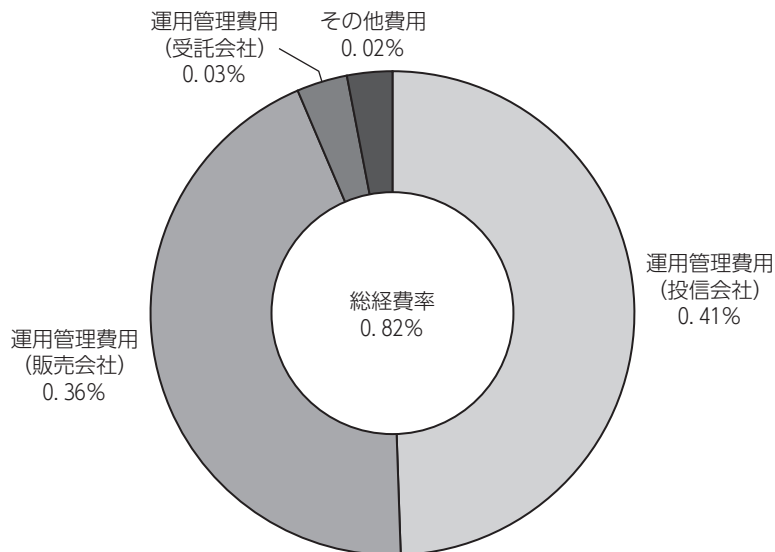
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.82%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

FANG+ インデックス・オープン

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年1月31日から2021年2月1日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
FANG+ インデックス・マザーファンド	4,030,545	7,356,390	2,155,178	4,151,660

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年1月31日から2021年2月1日まで)

項 目	当 期
	FANG+ インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	23,288,676千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,707,299千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.83

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
FANG+ インデックス・マザーファンド	2,511,692	4,387,060	10,486,828

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年2月1日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
FANG+ インデックス・マザーファンド	10,486,828	97.3
コール・ローン等、その他	287,237	2.7
投資信託財産総額	10,774,066	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月1日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝104.69円です。

(注3) FANG+ インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(23,522,190千円)の投資信託財産総額(23,918,955千円)に対する比率は、98.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年2月1日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,774,066,378円
コール・ローン等	198,287,856
FANG+ インデックス・マザーファンド(評価額)	10,486,828,522
未収入金	88,950,000
(B) 負債	292,482,692
未払収益分配金	4,397,916
未払解約金	249,331,925
未払信託報酬	38,487,523
その他未払費用	265,328
(C) 純資産総額 (A - B)	10,481,583,686
元本	4,397,916,616
次期繰越損益金	6,083,667,070
(D) 受益権総口数	4,397,916,616口
1万口当り基準価額 (C / D)	23,833円

* 期首における元本額は2,493,966,818円、当作成期間中における追加設定元本額は7,814,536,867円、同解約元本額は5,910,587,069円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は23,833円です。

■損益の状況

当期 自 2020年 1月31日 至 2021年 2月 1日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 20,038円
受取利息	16,070
支払利息	△ 36,108
(B) 有価証券売買損益	2,227,763,239
売買益	3,765,942,540
売買損	△ 1,538,179,301
(C) 信託報酬等	△ 52,704,911
(D) 当期損益金 (A + B + C)	2,175,038,290
(E) 前期繰越損益金	81,952,585
(F) 追加信託差損益金	3,831,074,111
(配当等相当額)	(765,183,298)
(売買損益相当額)	(3,065,890,813)
(G) 合計 (D + E + F)	6,088,064,986
(H) 収益分配金	△ 4,397,916
次期繰越損益金 (G + H)	6,083,667,070
追加信託差損益金	3,831,074,111
(配当等相当額)	(765,183,298)
(売買損益相当額)	(3,065,890,813)
分配準備積立金	2,252,592,959

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,858,845円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,170,179,445
(c) 収益調整金	3,831,074,111
(d) 分配準備積立金	81,952,585
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,088,064,986
(f) 分配金	4,397,916
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,083,667,070
(h) 受益権総口数	4,397,916,616口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

FANG+ インデックス・マザーファンド

運用報告書 第3期 (決算日 2021年2月1日)

(作成対象期間 2020年1月31日～2021年2月1日)

FANG+ インデックス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	投資成果を NYSE FANG+ 指数（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行いません。
主要投資対象	イ．米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（D R（預託証券）を含みます。） ロ．米国株式の指数との連動をめざす E T F（上場投資信託証券）
株式組入制限	無制限

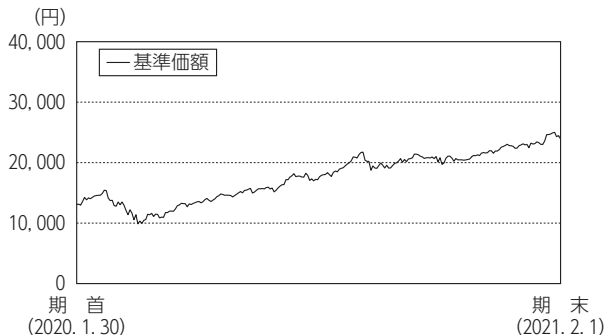
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		NYSE FANG+ 指数 (円ベース)		株式比率 (%)	先物比率 (%)	投資信託受益証券組入比率 (%)
	円	騰落率 (%)	ベンチマーク	騰落率 (%)			
(期首) 2020年 1月30日	13,058	—	13,215	—	94.8	4.9	0.3
1月末	13,141	0.6	13,300	0.6	94.9	4.5	0.4
2月末	12,888	△ 1.3	13,044	△ 1.3	93.0	5.9	0.5
3月末	11,494	△ 12.0	11,630	△ 12.0	92.9	6.2	0.6
4月末	13,511	3.5	13,670	3.4	92.3	7.5	0.6
5月末	14,324	9.7	14,492	9.7	94.7	3.3	0.7
6月末	15,435	18.2	15,618	18.2	96.1	3.4	0.1
7月末	17,180	31.6	17,394	31.6	96.4	5.0	0.0
8月末	20,769	59.1	21,027	59.1	94.4	9.5	0.0
9月末	19,974	53.0	20,216	53.0	96.3	4.9	0.1
10月末	20,807	59.3	21,060	59.4	97.6	2.7	0.1
11月末	21,279	63.0	21,534	63.0	95.7	4.5	0.1
12月末	22,915	75.5	23,200	75.6	96.7	3.4	—
2021年 1月末	24,465	87.4	24,770	87.4	96.6	3.2	—
(期末) 2021年 2月1日	23,904	83.1	24,200	83.1	96.8	3.3	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) NYSE FANG+ 指数 (円ベース) は、NYSE FANG+ 指数 (円ベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,058円 期末：23,904円 騰落率：83.1%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマーク (NYSE FANG+ 指数 (円ベース)) の動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米国株式市況が上昇したことや組み入れているハイテク銘柄の好調な業績を受けて基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて大きく下落しました。2020年3月下旬以降は、各国の大胆な景気刺激策や新型コロナウイルス治療薬およびワクチンの開発への期待などを好感し、上昇しました。9月以降は、米国の景気回復に対して懐疑的な見方が広がったことを受け、上値の重い展開となりました。しかし11月以降は、米大統領選挙の結果に対する不確実性が解消されたことやワクチンが承認されて接種が始まったことを好感し、上昇して当作成期末を迎えました。

○為替相場 (米ドル/円)

為替相場は円高となりました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により景気後退懸念が高まったこと、また2020年3月上旬には金融市場の混乱を受けたリスク回避的な動きから、米ドルは下落 (円高) しました。その後、各国で大規模な財政・金融政策が発表されたことで市場は一定の落ち着きをみせました。9月に入ると、感染再拡大への懸念からリスク回避姿勢が高まり、米ドルは下落基調になりました。2021年1月以降は、米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大統領府および上下両院共に民主党が制したことで大型経済対策などの政策の実現化が現実味を帯び、米国の経済回復への期待が高まったことを受け、米ドルは上昇 (円安) しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

米国株式を中心に、ETF (上場投資信託証券) および外国株式先物も一部利用し、株式組入比率 (投資信託証券、株価指数先物を含む。) につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

NYSE FANG+ 指数の採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

組入銘柄においては、世界的な脱ガソリン車の流れを背景に、電気自動車への期待が高まり、足元業績も安定してきた TESLA INC. や、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による巣ごもり需要を背景にデータセンター向けの売上上げが堅調な NVIDIA CORP. などの銘柄がプラスに寄りました。

◆ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は83.1%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は83.1%となりました。

ファンドの組入銘柄に配当金が計上されたのに対し、ベンチマークは配当金が含まれていないため、かい離要因となりました。また、組み入れているETF (上場投資信託証券) の原資産がベンチマークと異なっていることや、ファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異が、かい離要因となりました。その他、売買委託手数料や保管費用等のコスト負担がかい離要因としてあげられます。

《今後の運用方針》

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション) (投資信託受益証券)	4円 (3) (1) (0)
有価証券取引税 (株式) (投資信託受益証券)	0 (0) (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (2) (1)
合 計	8

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2020年1月31日から2021年2月1日まで)

外 国	アメリカ	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
		百株 8,407.16 (1,394.01)	千アメリカ・ドル 162,545 (—)	百株 2,721.06	千アメリカ・ドル 58,185

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2020年1月31日から2021年2月1日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR (ケイマン諸島)	72.04	1,942,367	26,962	TESLA INC (アメリカ)	46,913	2,674,662	57,013
FACEBOOK INC-CLASS A (アメリカ)	69.559	1,839,265	26,441	BAIDU INC - SPON ADR (ケイマン諸島)	45.228	826,061	18,264
AMAZON.COM INC (アメリカ)	5.654	1,805,155	319,270	TWITTER INC (アメリカ)	127.355	623,605	4,896
TESLA INC (アメリカ)	23.794	1,788,012	75,145	NVIDIA CORP (アメリカ)	9.588	411,403	42,908
NETFLIX INC (アメリカ)	34.625	1,779,198	51,384	AMAZON.COM INC (アメリカ)	1.152	320,537	278,244
ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	10.876	1,716,843	157,856	NETFLIX INC (アメリカ)	6.139	296,521	48,301
NVIDIA CORP (アメリカ)	33.582	1,623,129	48,333	FACEBOOK INC-CLASS A (アメリカ)	10.968	281,902	25,702
BAIDU INC - SPON ADR (ケイマン諸島)	125.767	1,613,502	12,829	APPLE INC (アメリカ)	15.396	263,036	17,084
APPLE INC (アメリカ)	75.723	1,541,416	20,355	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	1.353	225,854	166,928
TWITTER INC (アメリカ)	389.096	1,512,680	3,887	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR (ケイマン諸島)	8.014	203,519	25,395

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託受益証券

(2020年1月31日から2021年2月1日まで)

外 国	アメリカ	買 付		売 付	
		千口 8.71 (—)	千アメリカ・ドル 2,140 (—)	千口 9.3 (—)	千アメリカ・ドル 2,360 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

(2020年1月31日から2021年2月1日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国 株式先物取引	百万円 8,217	百万円 7,976	百万円 —	百万円 —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資信託受益証券

(2020年1月31日から2021年2月1日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		金 額		平均単価	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
VANGUARD INFO TECH ETF (アメリカ)	8.71	230,458	26,459	VANGUARD INFO TECH ETF (アメリカ)	9.3	253,347	27,241

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘 柄	株 数	株 数	評 価 額		業 種 等	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
			千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)	百株	百株				
APPLE INC	140.89	1,695.13	22,368	2,341,803	情報技術	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	185.5	825.76	20,960	2,194,330	一般消費財・サービス	
BAIDU INC - SPON ADR	308.82	1,114.21	26,186	2,741,429	コミュニケーション・サービス	
AMAZON.COM INC	22.04	67.06	21,500	2,250,916	一般消費財・サービス	
ALPHABET INC-CL A	29.14	124.37	22,726	2,379,276	コミュニケーション・サービス	
FACEBOOK INC-CLASS A	190.85	776.76	20,066	2,100,713	コミュニケーション・サービス	
TESLA INC	97.07	308.92	24,513	2,566,342	一般消費財・サービス	
TWITTER INC	1,225.38	3,842.79	19,417	2,032,830	コミュニケーション・サービス	
NVIDIA CORP	164.48	404.42	21,013	2,199,878	情報技術	
NETFLIX INC	116.86	401.72	21,387	2,239,022	コミュニケーション・サービス	
フ ァ ン ド 合 計	株 数、金 額	2,481.03	9,561.14	220,140	23,046,544	
	銘柄数<比率>	10 銘柄	10 銘柄		<96.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託受益証券

銘 柄	口 数	口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
			千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)	千口	千口		
VANGUARD INFO TECH ETF	0.59	—	—	—
合 計	口 数、金 額	0.59	—	—
	銘柄数<比率>	1 銘柄	—	<—>

(3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘 柄 別	当 期	期 末
	買 建 額	売 建 額
外 国	百万円	百万円
NYSE FANG+ IDX FU (アメリカ)	775	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年2月1日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	23,046,544 千円	96.4 %
コール・ローン等、その他	872,410	3.6
投資信託財産総額	23,918,955	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月1日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝104.69円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(23,522,190千円)の投資信託財産総額(23,918,955千円)に対する比率は、98.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年2月1日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	24,212,062,796円
コール・ローン等	536,680,625
株式(評価額)	23,046,544,128
未収入金	324,627,048
差入委託証拠金	304,210,995
(B) 負債	398,634,257
未払金	300,754,257
未払解約金	97,880,000
(C) 純資産総額(A-B)	23,813,428,539
元本	9,962,123,996
次期繰越損益金	13,851,304,543
(D) 受益権総口数	9,962,123,996口
1万口当り基準価額(C/D)	23,904円

*期首における元本額は3,769,869,667円、当作成期間中における追加設定元本額は10,713,995,676円、同解約元本額は4,521,741,347円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、iFreeNEXT FANG+ インデックス5,575,063,871円、FANG+ インデックス・オープン4,387,060,125円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は23,904円です。

■損益の状況

当期 自 2020年1月31日 至 2021年2月1日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	9,693,844円
受取配当金	9,515,144
受取利息	253,494
その他収益金	108,428
支払利息	△ 183,222
(B) 有価証券売買損益	7,271,036,616
売買益	7,710,709,907
売買損	△ 439,673,291
(C) 先物取引等損益	303,996,717
取引益	459,100,187
取引損	△ 155,103,470
(D) その他費用	△ 2,340,452
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	7,582,386,725
(F) 前期繰越損益金	1,152,732,147
(G) 解約差損益金	△ 3,786,208,653
(H) 追加信託差損益金	8,902,394,324
(I) 合計(E+F+G+H)	13,851,304,543
次期繰越損益金(I)	13,851,304,543

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

NYSE® FANG+™ は、ICE Data Indices, LLC またはその関連会社（以下「ICE データ」）の登録商標であり、NYSE® FANG+™ 指数および NYSE® FANG+™ 指数（円ベース）（以下「指数」）を利用するライセンスが FANG+ インデックスマザーファンド（以下「ファンド」）において、大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。大和アセットマネジメント株式会社およびファンドは、ICE データによってスポンサー、販売、または販売促進されているものではなく、ICE データは、証券投資全般、特にファンドへの投資の妥当性について、または指数が一般的な株式市場のパフォーマンスを追従することについて、いかなる表明保証を行うものではありません。

ICE データおよびその第三者供給元は、明示または黙示の保証を行わず、インデックス、インデックスの値またはそれに含まれるすべてのデータに関して、商品性または特定の目的への適合性のすべての保証を明示的に否認します。ICE データは、たとえそのような損害の可能性について、特別、懲罰的損害、直接的、間接的、または結果的損害（利益の損失を含む）に対する責任は通知されていたとしても一切負いません。

“NYSE® FANG+™” is a service/trade mark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates (“ICE Data”) and has been licensed along with the NYSE® FANG+™ Index and NYSE® FANG+™ Index (JPY) (“Indexes”) for use by DAIWA ASSET MANAGEMENT in connection with FANG+ Index Mother Fund (the “Fund”). Neither DAIWA ASSET MANAGEMENT nor the Fund, as applicable, are sponsored, endorsed, sold or promoted by ICE Data. ICE Data makes no representations or warranties regarding the advisability of investing in securities generally, in the Fund particularly or the ability of the Indexes to track general stock market performance.

ICE DATA AND ITS RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS MAKE NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE WITH RESPECT TO THE INDEXES, INDEX VALUES OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. IN NO EVENT SHALL ICE DATA HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.